

情報演習

単位数	2 単位	対象学年	3 学年	対象コース・クラス	情報ビジネス
使用教科書	なし	副教材等	プリント教材		

1. 学習の到達目標

パソコンソフト（WORD）を使用して文書デザイン能力を身につけるとともに、情報化社会の中でのコンピュータ活用能力の向上を図ることを目的とする。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ・ Word を使用して、文字の入力や加工、図形・画像・ワードアートの挿入などを学習する。
- ・ 日本情報処理検定協会主催の文書デザイン検定試験 2 級・1 級合格を目標に模擬問題や過去問題に取り組む。
- ・ 日本情報処理検定協会主催の日本語ワープロ検定試験 3 級・準 2 級・2 級の文書作成の模擬問題に取り組む。

3. 学習上のメッセージ

現代社会では、パソコンを活用する能力は不可欠です。コンピュータの技術は頭の中で考えているだけでは上達しません。コンピュータ実習を通して操作・処理方法を習得しましょう。
毎時間の学習の積み重ねが資格取得に繋がります。真面目に取り組んでください。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の 4 つの観点から行う。



関心・意欲・態度	情報処理機器による業務の処理に興味を持ち、これを活用するための演習に積極的に取り組むとともに、日常の問題解決にこれを活用しようとしている。
思考・判断	文字・図形・画像等のレイアウトがバランスよく行える。
技能・表現	文字・データの入力やワークシートの編集などの操作ができる。
知識・理解	情報処理機器の特徴ならびに、ワークシートの構成や機能を理解している。

評価は具体的には次のものを対象とする。

- ①出席状況や授業における学習態度を評価する。
 - ②課題の提出状況や仕上がり具合を評価する。
 - ③実技試験を評価する。
 - ④検定試験（意欲的に受験する）も評価に加える。
 - ⑤広島桜が丘高校の生徒として規則に則った服装での学習活動への参加状況。
- 1 年間の評定は、年間を通じて、総合的に判断して決定する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用副教材項目	指導内容と評価のポイント
ワープロの基礎基本	日本語ワープロ検定試験 3級・準2級・2級	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字入力ができる。 ・タッチメソッドができる。 ・文書作成のレイアウトができる。
図形と画像の処理	文書デザイン検定試験 2級	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の入力、加工ができる。 ・図形の挿入ができる。 ・画像の挿入ができる。
文書デザイン検定	文書デザイン検定試験 1級	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の入力、加工ができる。 ・図形の挿入ができる。 ・画像の挿入ができる。

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
ワープロの基礎基本	3級速度 文字入力練習		↑										
	2級速度 文字入力練習												
	3級・準2級・2級文書作成		↓										
		中間試験											
図形と画像の処理	文書デザイン検定試験 2級・1級 試験問題				↑								
		期末試験											
文書検定	文書デザイン検定試験 2級・1級試験問題									↑			
		中間試験											
文書検定	文書デザイン検定試験 1級試験問題											↑	
		期末試験											
文書検定	日本語ワープロ検定試験 準2級・2・準1級文書作成												↑
	文書デザイン検定試験 1級試験問題												↓
		学年末試験											
凡例	 授業計画  試験範囲	行事等	中間試験	期末書 末試 験デ ザ イン 検 定		中間試験	期末書 末試 験デ ザ イン 検 定	卒業試験	文書 デザイン 検 定				